

地質ニュース

昭和 57 年 12 月

第 340 号

1 9 8 2

地質調査所における応用地質事業の沿革 応用地質課の設置から現在と将来の展望	黒田和男	6
地学と切手「アラスカの国立公園 マツキンレー山」	P. Q.	19
地質調査所における傾斜地災害の調査・研究の変遷	黒田和男	20
創立 100 周年に使われたシンボルマーク	加藤甲彦	25
クリル諸島の燃料鉱物資源	岸本文男	26
中国の鉱物資源③ —華南の花崗岩類—	石原舜三 佐藤岱生	30
対馬海峡をめぐる白亜系・第三系の地質学的問題 —その 2—海域の地質と総括	井上英二	46
地下水位の観測記録に現れる地下水障害の動向	村下敏夫	62
中 甞 NAKAKOSHIKI	井上英二 田中啓策 寺岡易司	72
地質ニュース総目次 (No. 317~340)		73

口 絵 シェラ・ネバダ・パソリス 石原舜三

編集 地質調査所

表紙の写真

シェラ・ネバダの景観

シェラ・ネバダは花崗岩類からなる山脈である(口絵参照)。その景観は東西で大きく異なる。西からみるシェラ・ネバダは、樹林の中に白い峰々がただよう。シェラ・ネバダの高峰が雪や雨を降らせ、水は主に西麓へ流れて樹林地帯のみならず、カリフォルニア州中部の著名な穀倉地帯をもうおす。一方、シェラ・ネバダの東麓は、木一草もはえないネバダ州の砂漠地帯の延長である。シェラ・ネバダ山頂から流れる雪水が、山麓地域にわずかな緑を生む。

写真は東麓に流れるパイン・クリークを、西に向って写したものである。白色部は花崗岩であり、右側の褐色部はルーフ・ペンダントとしての堆積岩である。この堆積岩には石灰質が含まれており、これに花崗岩が接触して多数のタングステン鉱床をもたらした。アメリカ最大のタングステン鉱床、パインクリークは、この沢の右手奥にある。日本には例が少ないモリブデンを多く含む灰重石がスカルン中に産し、W Mo などが化学的処理で抽出されている(1975年8月撮影)。

発行 株式会社 実業公報社